



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

平成31年度(2019年度)滋賀県当初予算案

# 「健康しが」予算

～「世界から選ばれる滋賀」を目指して～

※出典は省略しています

施策構築方針を策定（平成30年7月）

SDGsの視点の活用や  
新たな部局横断課題への対応等を検討

財政収支見通しの再試算を公表（平成30年8月）  
→2026年度までで800億円超の財源不足の見込

収支改善の取組を検討

**予算編成要領を策定**（平成30年10月）

- 1 **次期基本構想に基づく戦略的な施策構築**  
→「未来へと幸せが続く滋賀」実現に向け、戦略的な施策を検討
- 2 **財政健全化の推進**  
＜歳入＞ 寄附やネーミングライツ等の自主財源の充実強化  
＜歳出＞ 事業効果を踏まえた既存事業の見直しなど

予算見積・公表（平成31年1月）

**予算案確定**

# 当初予算案の規模

	予算額	対前年度当初予算比	
		金額	比率
一般会計	5,415億円	+ 46億円	+ 0.8%
特別会計	2,680億円	▲ 78億円	▲ 2.8%
企業会計	1,062億円	+ 335億円	+ 46.2%

※1. 琵琶湖総合開発資金管理事業特別会計を廃止しています。

※2. 流域下水道事業特別会計を廃止し、企業会計として琵琶湖流域下水道事業会計を新設しています。

## 【主な増減の要因(一般会計・歳出)】

○幼児教育・保育の無償化	+17億円
○施設・インフラ整備の進捗	
・社会福祉関係施設整備補助金(介護、障害児者等)	+20億円
・土地改良公共事業	+19億円
・国スポ関係施設整備((仮称)彦根総合運動公園等)	+12億円
○公債費	▲36億円

# 県税の特徴

	予算額	対前年度当初予算比		背景
		金額	比率	
総額	1,705億円	+65億円	+4.0%	
個人県民税	553億円	+11億円	+2.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業者数が増加傾向にあり、納税義務者数の増加が見込まれる。</li> <li>円安・株高傾向にあり、配当や株式等の譲渡所得の増加が見込まれる。</li> </ul>
法人二税	537億円	+55億円	+11.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の景気回復に伴って、県内企業の業績が好調なことから増収が見込まれる。</li> </ul>
地方消費税	201億円	▲9億円	▲4.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸出産業の好調を受け、輸出商品の仕入れにかかった地方消費税の還付が増加し、減収が見込まれる。</li> </ul>
軽油引取税	130億円	+6億円	+4.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>貨物輸送量の増加等により軽油需要が増加しており、増収が見込まれる。</li> </ul>
自動車税・ 自動車税種別割	180億円	▲1億円	▲0.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>保有台数はほぼ横ばいであるものの、税率の低い小型車の割合が増加傾向であることから、減収が見込まれる。</li> </ul>
その他	103億円	+3億円	+3.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>税制改正の影響により、自動車取得税・自動車税環境性能割は減収の一方、不動産取得税等は増収見込。</li> </ul>

(参考)

地方消費税 (清算後)	499億円	▲1億円	▲0.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>清算基準の見直しによる地方消費税清算金収入の減少により、減収が見込まれる。</li> </ul>
----------------	-------	------	-------	---

※1 地方消費税(清算後)は、国から払い込まれた地方消費税額を最終消費地に帰属させるために都道府県間で清算した後の額です。

※2 四捨五入により、総額と内訳が一致しない箇所があります。

## 雇用環境

### 人口

合計特殊出生率 H24 1.53人 → H29 1.54人  
転入超過数 H26 ▲2,101人 → H30 + 409人  
外国人人口 H26 23,555人 → H29 26,533人

- ・ 移住の促進
- ・ 滋賀県のブランド力強化
- ・ 県内大学の活性化
- ・ 大学生の県内定着の取組
- ・ 子育て環境の整備
- ・ 共生社会の実現

### 就業

就業者数 H26 717千人 → H29 725千人  
若者の就職内定率 H26 95.3% → H30 96.4%  
就業中の障害者数 H26 5,745人 → H29 6,787人  
外国人労働者数 H26 11,895人 → H30 17,238人

- ・ 滋賀の産業を支える人材の育成や確保
- ・ 多様な主体の働く場への参加  
(若者、女性、障害者、中高年齢者)
- ・ 働きやすい職場環境づくり
- ・ 仕事と子育ての両立支援
- ・ 健康づくりの推進
- ・ 外国人材の受入れ

◆これまでから、当初予算に加え、国の経済対策に  
呼応した補正予算を編成し、取組を推進

## 産業

### 観光

延観光入込客数 H26 4,633万人 → H29 5,248万人

- ・ 滋賀の観光素材の磨き上げ
- ・ 日本遺産をはじめとする滋賀の魅力の発信

### 商工業等

鉱工業生産指数 H26 100.6 → H29 107.1 (H22=100)  
景況調査結果 H26.4~6月期 → H30.10~12月期(DI)  
業況 ▲5.2 → 1.1 生産 ▲3.9 → 7.9  
売上 ▲5.8 → 7.3 経常利益 ▲11.1 → ▲6.4

- ・ 企業立地の促進
- ・ 工業団地の造成
- ・ 環境産業の振興
- ・ 創業支援
- ・ 中小企業の活性化推進
- ・ 建設業の振興
- ・ 地場産業の振興

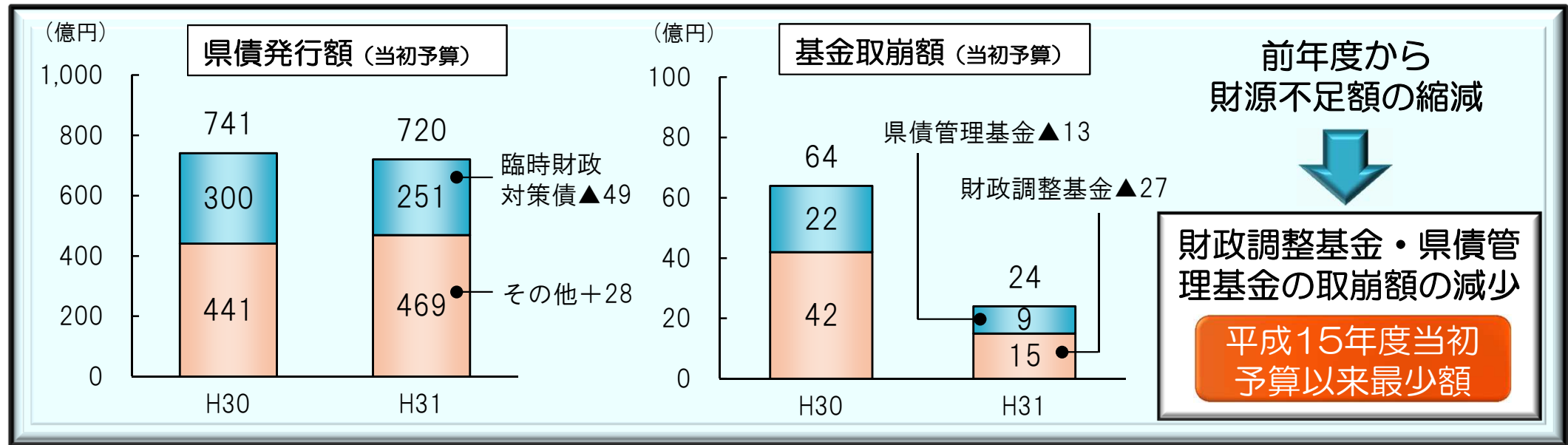
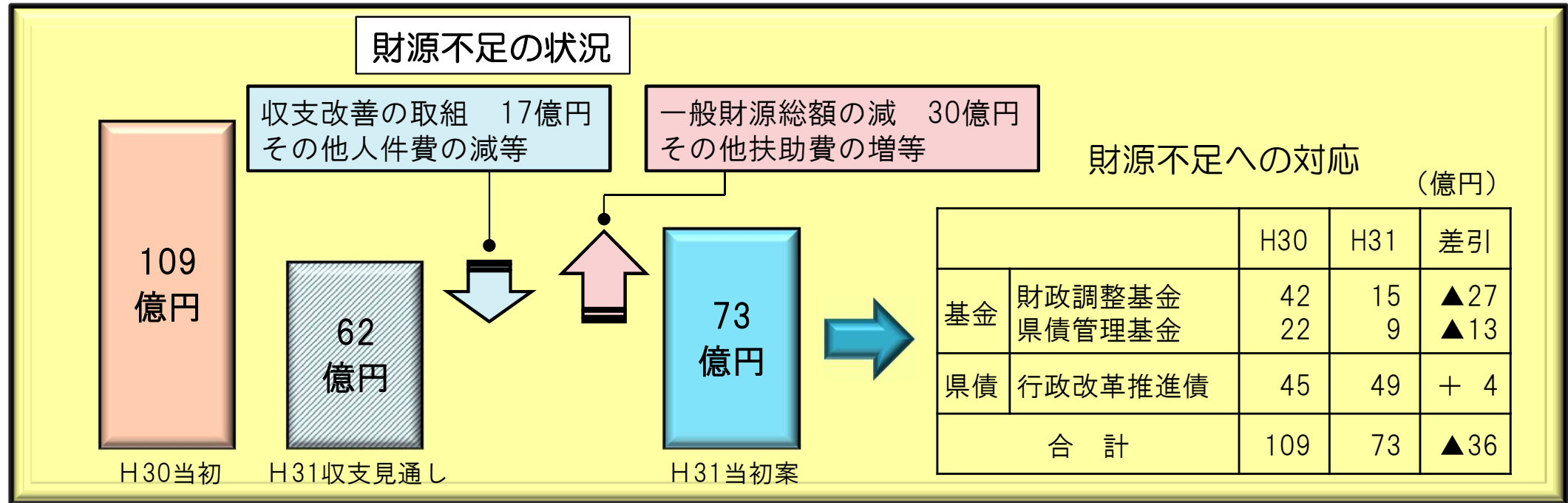
### 農林水産業

農業産出額 H25 618億円 → H29 647億円  
(うち園芸品目等 H25 113億円 → H29 151億円)  
近江牛の飼養頭数 H25 11,684頭 → H29 13,458頭  
県産材の素材生産量 H26 5.6万<sup>m</sup> → H29 8.8万<sup>m</sup>

- ・ 環境こだわり農産物をはじめとするブランド力強化
- ・ 野菜等の高収益作物の生産振興
- ・ 近江牛をはじめとする畜産業の生産基盤強化
- ・ 林業成長産業化の促進

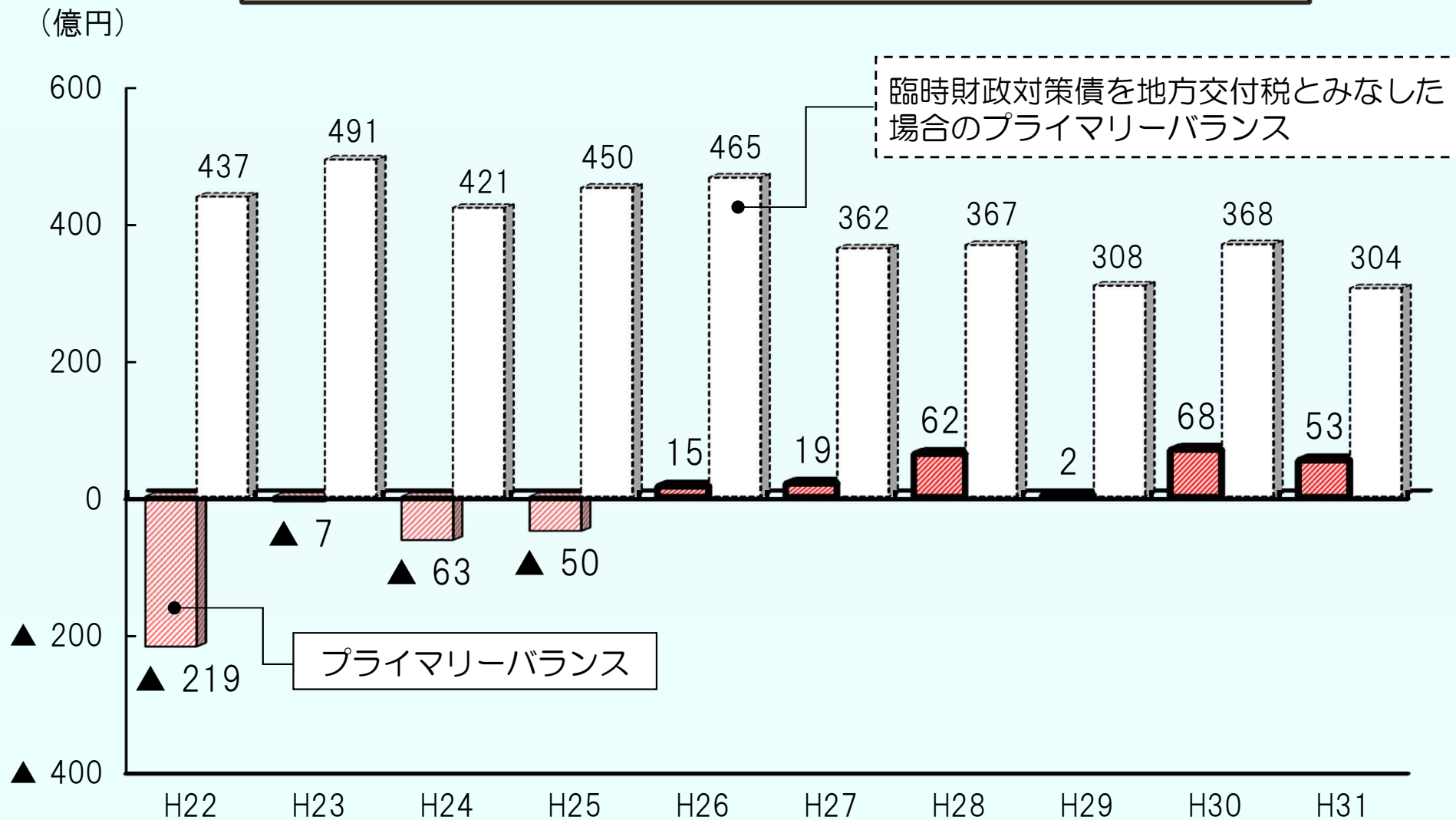


# 持続可能な財政運営



# プライマリーバランス

平成26年度以降**6年連続**で黒字を維持



# 新たな基本構想の実現に向けて

## 新たな滋賀県基本構想の策定

- ・時代に合わせて、しなやかに「変わる滋賀」
- ・SDGsの特徴を活かす
- ・「未来へと幸せが続く滋賀」の実現

新たな施策の展開に向けた「第一歩」を踏み出す

## 「健康しが」

### 1 人の健康

(1)生涯を通じた「からだところどころ」の健康  
9,492百万円

(2)柔軟で多様なライフコース  
4,880百万円

### 2 社会の健康

(3)未来を拓く 新たな価値を生み出す産業  
3,169百万円

(4)未来を支える 多様な社会基盤  
57,242百万円

### 3 自然の健康

(5)未来につなげる 豊かな自然の恵み  
2,282百万円



# 1. 人の健康

## (1) 生涯を通じた「からだところろ」の健康

### ① 生涯を通じた健康づくり

318百万円

食生活の充実、運動習慣の定着などによる生涯を通じた健康づくりや、先端技術を活用した健康管理等を通じて疾病予防・介護予防を推進します。

新規

#### 地元の魅力発見「健康しが」ツーリズム (23.5百万円)

- ・滋賀県の自然等観光資源と食や運動の体験の要素を組み合わせたツーリズムの提供
- ・健康づくりにつながる地域資源の情報の一元的な発信

#### みんなでつくる「健康しが」事業 (4.7百万円)

- ・「健康しが」共創会議を開催し、県民の健康づくりのための新たな活動の創出および機運醸成

拡充

#### 医療保険者保健事業推進事業 (10.8百万円)

- ・データ活用による医療保険者支援
- ・特定健診受診率の向上 など

#### 平均寿命、健康寿命に関連する要因

- 喫煙率 全国1位(男性20.6%)
- ボランティア行動者率 全国1位(33.9%)
- スポーツ行動者率 全国4位(71.6%)
- 食塩摂取量 全国5位(男性 10.1g/日)

※「喫煙率」「食塩摂取量」は低い方からの順位



# みんなで作る「健康しが」



## みんなで作る「健康しが」事業

【予算額 28.2百万円】



地域の魅力発見「健康しが」ツーリズム事業 23.5百万円  
～行動変容のきっかけの提供～

みんなで作る「健康しが」事業 4.7百万円  
～健康づくりの新たな活動の創出、機運醸成～





### ② 本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進 1,828百万円

最期までその人らしい生活が送れるよう、本人の暮らしを中心とした、切れ目のない医療や介護などのサービスの適切な提供体制を整備します。

新規

#### 外国人介護人材受入促進緊急対策事業（12.9百万円）

- ・外国人留学生への居住費等の支援
- ・技能実習生等の日本語等学習支援
- ・受入促進に向けた関係者との協議の場の設置

新規

#### “滋賀の福祉人” 育成事業（14.6百万円）

- ・研修センターの創設
- ・キャリア段階に応じた研修の実施

新規

#### 若年・軽度認知症者が働く「仕事の間」の支援（1.9百万円）

- ・認知症カフェ等を対象とした実態把握調査
- ・認知症サポーターの活用による見守りの強化 など

●介護職員数(H29) 19,210人  
(2025年: 3400人不足見込み)





### ③ 文化やスポーツを通じた元気な地域づくり

2,856百万円

スポーツや文化芸術等の活動に取り組むことができる環境の整備をはじめ、誰もが生涯を通じ、居場所や生きがいを持ち、自分らしく活躍できる社会づくりを目指します。

#### 文化プログラムによる滋賀の魅力発信（95百万円）

- ・近江文化の発見・発信、近江の文化財の魅力発信
- ・外国人向けの文化情報発信
- ・アール・ブリュットの振興、魅力発信
- ・文化プログラムフェスティバルの実施 など

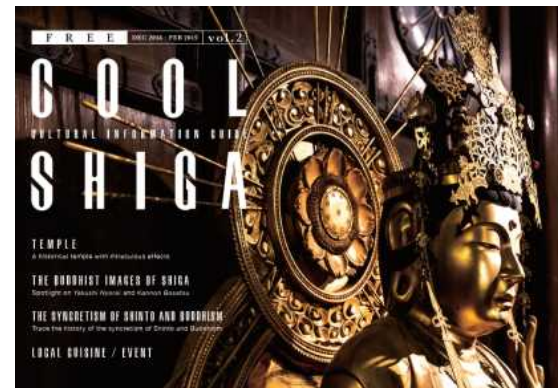
#### スポーツで滋賀を元気に！（4,838百万円）

- ・スポーツの魅力発信、運動・スポーツ習慣化の促進
- ・スポーツイベントにおけるボランティア活動の促進
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック等を契機とした海外との交流の創出 など

新規

#### 「幻の安土城」復元プロジェクト（9百万円）

- ・安土城復元に向けての調査、検討
- ・安土城をテーマとした連続講座の開催
- ・特別史跡安土城跡調査・整備事業の成果をまとめた映像記録の制作 など



- 成人の週1回以上のスポーツ実施率(H28) 36.0%
- スポーツボランティアの登録数(H29) 581人



### ④ 健やかな育ちを支える社会づくり

4,490百万円

切れ目のない子育て支援と社会的養護の環境など、誰もが安心して子どもを生み育て、子どもが健やかに育つ社会づくりを推進します。

新規

(継続事業含む)

#### 保育人材の確保・質の向上対策 (91.1百万円)

- ・滋賀の保育の魅力発信、中高生向け保育の仕事体験出前講座
- ・保育士有資格者登録バンク制度の創設
- ・保育士支援アドバイザーの配置
- ・認可外保育施設の質の向上 など



拡充

#### 里親支援ネットワーク事業 (16.9百万円)

- ・リクルーターの配置による里親の確保、制度PR など

拡充

#### 小児保健医療センター・療育部・守山養護学校の一体的整備 (129.2百万円)

- ・治療の困難な病気などの子どもたちが医療・福祉・教育を一体的に受けられる環境の向上のため、小児保健医療センター・療育部・守山養護学校を一体的に再整備

- 保育所待機児童数(H30.4) 439人
- 保育士の有効求人倍率(H29) 2.65倍  
※2018.1月時点の4.99倍は全国3位
- 里親委託率(H28) 39.3%(全国18.3%)

### ① たくましくしなやかに生きるための教育

4,718百万円

確かな学力、豊かな人間性や社会性を備え、生涯を通じ、自ら学び課題を解決する姿勢を身に付けるなど、子どもたちが変化・未知の時代をたくましくしなやかに生きるための教育を推進します。

新規

#### 「読み解く力」向上支援事業（21.8百万円）

発達段階に応じた「読み解く力」向上に取り組む

- ・小中学生の学習状況に応じた教員の指導力を高める実践的な研究・研修
- ・「読み解く力」をもとに探求する力を育成するためのセミナー
- ・学びにくさや「読み解く力」につまずきのある子どもに対する有効な支援や指導法の普及
- ・学校図書館を活用した楽しむ読書の推進 など

新規

#### しがグローバル人材育成事業（3.7百万円）

- ・生徒の英語による発信力育成を目指したプロジェクト型研究
- ・小中高生を対象としたイングリッシュキャンプの開催
- ・海外での語学研修 など

新規

#### 県立高等養護学校整備事業（8.4百万円）

- ・県立特別支援学校の職業教育のさらなる充実を図るため、  
大津・湖西地域に高等養護学校を新設

- 全国学力・学習状況調査(主として「活用」に関する問題)の県平均正答率(H30)  
小学校国語:53.0% 小学校算数:49.0%  
中学校国語:58.0% 中学校数学:45.0%
- 「学びのアンケート」の「学校の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができている」について「そう思う」と回答した割合(H30)  
小学校:33.4% 中学校:28.3%
- 英語検定3級以上相当の英語力を有する中3生徒の率(H29) 40.0%  
英語検定準2級以上相当の英語力を有する高3生徒の率(H29) 33.5%





### ② 柔軟で多様なライフコース

163百万円

いつでもどこでも学び続けることのできる機会の提供や、年齢、性別、病気・障害の有無などに関わらず多様な人が働きやすい環境づくりなど、柔軟で多様なライフコースを実現し、いつまでも自分らしく活躍し続けることができる社会づくりを推進します。

#### 滋賀マザーズジョブステーション事業 (51.9百万円)

- ・ワンストップでの再就労支援の実施 (MJS近江八幡、MJS草津駅前、湖北出張相談)
- ・湖東、甲賀、湖西地域におけるセミナーや相談会の開催
- ・保育所入所一斉受付開始前の合同面接会の開催 など

新規

#### 中高年人材新規就業支援事業 (24.8百万円)

- ・シニアジョブステーション滋賀 (SJS) でのワンストップの就労支援
- ・県内各地で中高年人材を対象とした啓発セミナーの開催
- ・「企業相談コーナー」での受入企業の職場環境改善の提案
- ・就職面接会の開催によるマッチング など

新規

#### 介護等の場における精神障害者就労促進事業 (5.3百万円) 【再掲】

- ・精神障害者の技能習得のための研修の実施
- ・介護事業所等職員研修の実施 など



- 滋賀マザーズジョブステーションにおいて就職に結びついた件数 (H29) 815件
- シニアジョブステーション滋賀利用者のうち就職者数 (H29) 602人



### ① 成長市場・分野を意識した産業創出・転換

1,421百万円

県内企業等が多様な人材の経営参画のもと、積極的に先端技術や地域資源を活用し、社会的課題の解決やグローバルな経営視点から、成長市場や成長分野を意識した事業展開を図ることができるよう支援します。また、滋賀の魅力を磨き上げ、国内外に発信するとともに受入環境を整備し、観光客をはじめとする交流人口と観光消費の増加に向けた取り組みを推進します。

新規

#### 次世代技術リーディングプロジェクト構築事業（15.1百万円）

- ・産学官による萌芽的な研究調査や立ち上がり期の研究の支援

新規

#### 「発酵産業」成長促進化プロジェクト事業（4.4百万円）

- ・発酵産業の成長促進化による企業の新たな事業展開や、持続的な発展、新たな価値の創造を目指す研究会の開催
- ・今後の方向性を示す報告書を取りまとめ、リーディングプロジェクトを展開

新規

#### 「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業（103百万円）

新規

#### スカーレット放映を活かした魅力発信事業（21百万円）

- ・大河ドラマ「麒麟がくる」やNHK連続テレビ小説「スカーレット」の放映に合わせた、観光キャンペーン等の展開



新規

#### 「幻の安土城」復元プロジェクト（9.0百万円）【再掲】

- ・安土城復元に向けての調査、検討
- ・安土城をテーマとした連続講座の開催
- ・特別史跡安土城跡調査・整備事業の成果をまとめた映像記録の制作 など

拡充

#### 「滋賀SDGs×イノベーションハブ」推進事業（6百万円）

- ・「滋賀SDGs×イノベーションハブ」を産官金で設置し、SDGsの理念を踏まえたビジネスモデルを創出

●延べ観光入込客数(H29) 5,248万人  
●観光消費額(H29) 1,793億円

# ドラマの舞台となる滋賀への誘客



## 滋賀への誘客などに向けた取り組み

【予算額 129.3百万円】

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

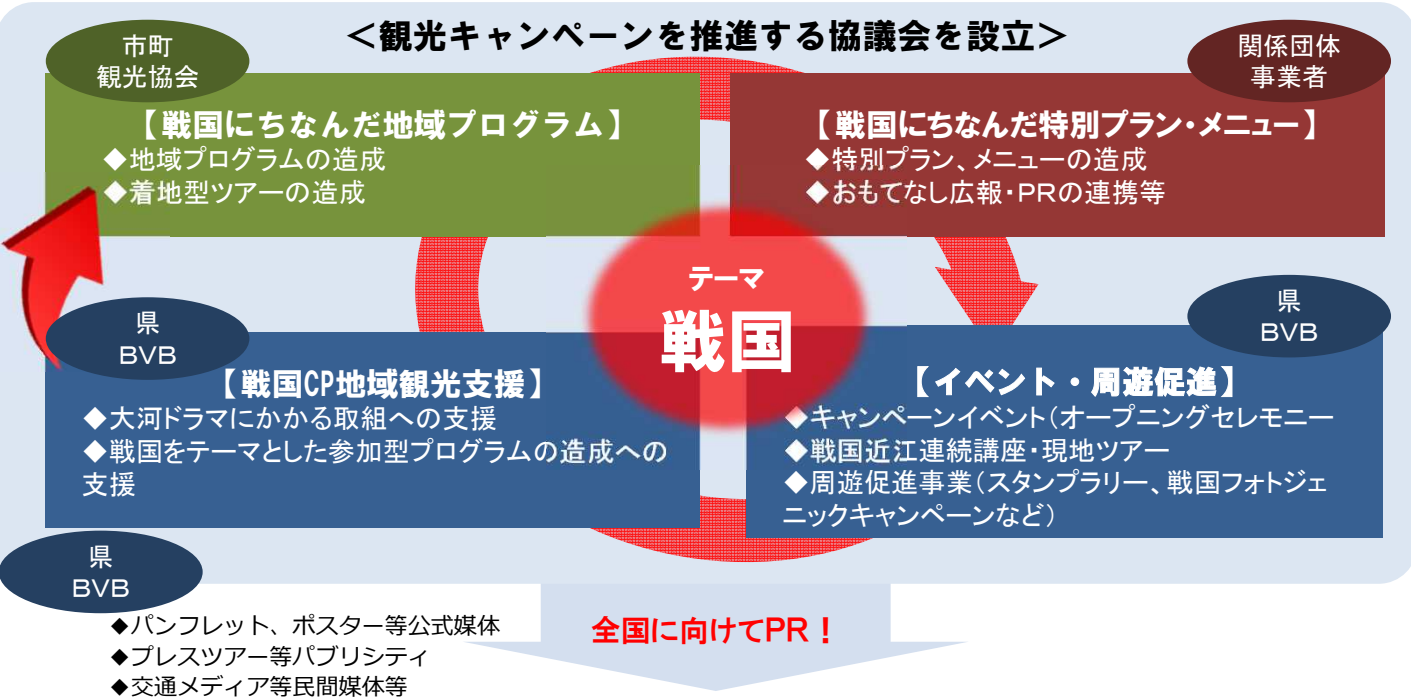
### 新 NHK大河ドラマ『麒麟がくる』との連携

「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業(103百万円)

滋賀県にゆかりの戦国武将“明智光秀”が主人公となるNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に合わせ、戦国をテーマとした観光キャンペーンを展開する。

■キャンペーン実施期間 2019年秋頃～2020年12月下旬

#### <観光キャンペーンを推進する協議会を設立>



### 新 NHK連続テレビ小説『スカーレット』との連携

スカーレット放映を活かした滋賀の魅力発信事業(18.6百万円)  
スカーレット放映を活かした信楽焼おもてなし発信事業(2.4百万円)

ドラマの放映を好機とし、ドラマに関連付ける県内各地の魅力(ひと・モノ・コト・地域・歴史・関連施設など)を全国に発信し、認知度・魅力度向上をはかり、滋賀への誘客、観光消費の拡大、地域の活性化につなげる。

#### <滋賀へのスカーレットツーリズムへ>



#### 滋賀への誘客・産品購買・滋賀ファン拡大

### 新 インバウンドに対応した観光案内所の設置(5.3百万円)

世界に向けてPR!

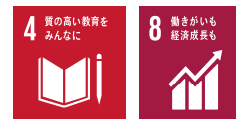
京都市内に本県のPRブースを設置するとともに、本県の観光案内を積極的に行うことにより、京都の訪日外国人観光客に対してPRし、誘客促進につなげる。

# 「幻の安土城」復元プロジェクト

## 「幻の安土城」復元プロジェクト

【予算額 9.0百万円】

【「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業 予算額除く】



全国的な知名度を誇る安土城の実像を明らかにし、目に見える形で復元することを目指す。



### 2020年

- ・関連資料調査の実施(絵画・文献資料・他の城郭の復元事例等)
- ・外部意見の集約
- ・安土城復元の方向性および方法の検討  
～現地復元の可否・他の復元方法の検討(現地以外での復元、ヴァーチャルリアリティ、プロジェクションマッピング、博物館等での模型展示など)
- ・安土城復元に向けての体制の検討

### 2021年

安土城復元の方向性・方法の決定  
安土城復元に向けての実施主体の決定  
(県・市町・関係団体・民間等)

### 2022～2025年

安土城見える化プロジェクト(県・市町・関係団体・民間等の連携事業)

- ・安土城復元事業の計画策定および実施
- ・安土築城450年祭に向けての準備(組織作り・内容の検討)

### 2026年

安土城築城450年祭



### ② 人材確保と経営の強化

334百万円

働き方の多様化が進む中で、働く場としての魅力向上や経営基盤の強化などにより、県内企業等における多様な人材の確保や適切な事業承継を支援します。

#### 新規 しがヤングジョブパーク事業（54.8百万円）

- ・人材確保支援コーナーの設置
- ・キャリアコンサルタントによるきめ細かな就職支援 など

#### 新規 外国人材受入サポート事業（42.7百万円）

- ・企業・事業所向けの相談窓口の開設、出張相談会や外国人材採用セミナーの開催
- ・就労支援窓口の多言語対応化 など

#### 新規 しがの産業生産性向上支援事業（9.1百万円）

- ・第3次産業における生産性向上支援手法を大学と共同で調査、研究
- ・生産性向上支援インストラクターの育成
- ・インストラクターの企業等への派遣 など

#### 新規 滋賀発 事業承継プロジェクト推進事業（10百万円）

- ・滋賀県事業承継ネットワークの運営、各支援機関が実施するモデル事例創出の取組に対する支援 など



- 県内大学生の県内企業への就職率(H29) 11.4%
- 中小企業の廃業率(H28) 3.6%(全国3.5%)

### ③ 力強い農林水産業の確立

1,414百万円



担い手の確保・育成や先端技術の活用、経営の規模拡大・複合化等による生産性の向上を図るとともに、環境にこだわった農林水産物の高付加価値化や魅力発信、輸出の拡大等の取組を推進します。

#### スマート農業の推進（152.6百万円）

- ・ICT等を活用したスマート農業の情報発信・新技術開発 など

#### 環境こだわり農業のさらなる推進・ブランド力の強化（572百万円）

- ・環境こだわり米の「みずかがみ」、「コシヒカリ」を近江米の2枚看板とした生産・流通の拡大、テレビCM等
- ・オーガニック米の生産支援、首都圏等での販路開拓 など

新規

#### 健康長寿日本一の滋賀育ち食材を活かした『滋賀めし』創造事業（9.2百万円）

- ・「滋賀めし」メニューの開発と普及促進、「滋賀めし」によるおもてなし



新規

#### 「近江牛」の新たな地域内一貫生産推進事業（4.9百万円）

- ・交雑種雌牛からの和牛子牛生産の取組支援、胚移植の技術向上研修の実施

新規

#### びわ湖のめぐみ魅力体感事業（15.2百万円）

- ・湖魚を扱う店舗とのネットワーク構築による情報発信
- ・学校給食への食材提供、体験学習会の開催

#### しがの林業成長産業化に向けた取組の推進（337百万円）

- ・県産材の流通効率化対策、チップ用材等の利用促進 など



- 農業産出額 H27:586億円 H28:636億円 H29:647億円
- 林業産出額 H26:14.2億円 H27年:9.7億円 H28年:10.7億円
- 琵琶湖漁業の漁獲量 H26:880トン H27:979トン H28:947トン





### ① 強靱な社会インフラの整備、維持管理

54,639百万円

自然環境が持つ多様な機能も生かしながら、生活や産業を支える強靱な社会インフラ整備・維持更新を着実に推進します。

#### 生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理 (29,800百万円)

- ・ 県道ネットワークの充実、渋滞対策、農業水利施設の整備 など

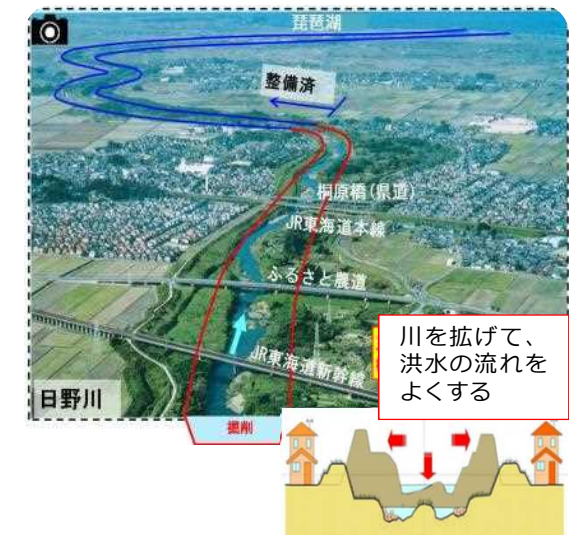
#### 持続型社会に向けた社会インフラの構築 (15,253百万円)

- ・ 河川整備、土砂災害対策施設整備、治山事業 など

#### 社会資本の老朽化への対応 (11,519百万円)

- ・ 長寿命化計画に基づく老朽化対策の実施

- 地域の活性化に向けた道路ネットワークの強靱化が必要
- 全国で土砂災害が頻発・激甚化





### ② コンパクトで移動や交流しやすい交通まちづくり

75百万円

誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくりを推進するとともに、社会構造の変化に対応した地域公共交通ネットワークづくりの検討を進めます。

新規

### まちづくり基本方針策定事業（13百万円）

- ・まちづくりと密接に関係する地域公共交通、医療・福祉、防災等の各施策と連動した「『健康しが』で暮らせるまちづくり」のマスタープラン策定に向けた、都市の現状分析・課題整理 など

### 地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり（476百万円）

- ・社会インフラとしての地域公共交通のあり方の検討
- ・近江鉄道線のあり方検討
- ・地方バス等対策事業
- ・広域鉄道ネットワークの検討
- ・輸送力・利便性向上整備事業 など



- 誰もが暮らしやすいまちづくり
- 地域を支える新しい地域交通仕組みづくり

地域社会を支える交通



### ③ 暮らしを支える地域づくり

60百万円

自分たちの身近な暮らしを自分たちで支える、地域の特性に合ったコミュニティづくりや地域を支える人づくりを支援します。

#### 地域づくり人材育成事業（22.4百万円）

- ・ 公立大学法人滋賀県立大学におけるSDGs地域人材育成事業やSDGs単位互換科目の開講 など

新規

#### 未来を拓く地域づくり推進事業（1.4百万円）

- ・ 持続可能な地域コミュニティの実現に向けた取組の検討・研究のための市町支援

#### 「やま・さと・まち」移住・交流推進事業 （23.3百万円）

- ・ 移住フェアの開催
- ・ 市町等と連携した移住相談会の開催、移住者交流会の開催 など

● 移住施策に取り組む市町への県外からの移住件数  
H27:98世帯 H28:135世帯 H29:107世帯





### ④ 安全・安心の地域づくり

619百万円

様々な危機事案への対応能力の向上に努めるとともに、地域の特性に合ったコミュニティづくりや地域を支える人づくりを推進し、多様な主体との連携のもと、自助・共助による地域防災力の強化や、犯罪、交通事故の少ない安全・安心な地域づくりを進めます。

#### 災害に強い地域づくり (537.8百万円)

- ・大規模氾濫に対する防災・減災対策
- ・滋賀県地震防災プランの推進
- ・女性の参画による防災力アッププロジェクトの策定
- ・原子力防災対策 など



新規

#### 子ども安全対策事業 (7.1百万円)

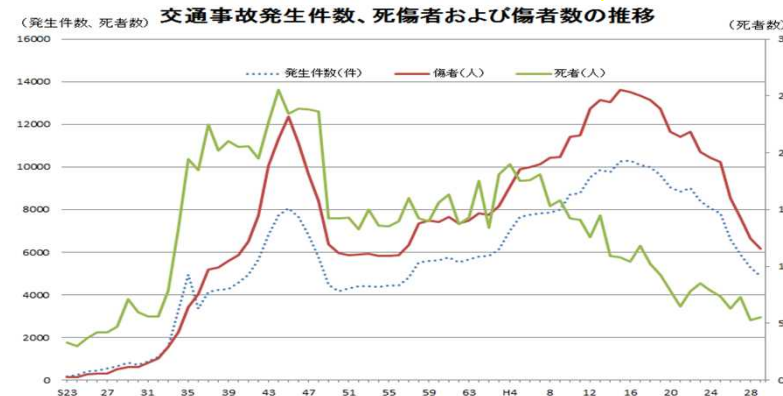
- ・犯罪発生マップの機能強化
- ・青パト実務者研修会の開催
- ・ヤング防犯ボランティアの育成・活動の支援

#### 交通事故の少ない安全・安心の地域づくり (1,711百万円)

- ・通学路における歩道整備
- ・高齢運転者安全・安心事業 など



- 刑法犯認知件数(H30年) 7,967件(対前年:-770件)
- 交通事故発生件数(H30年) 4,212件(対前年:-664人)
- 交通事故による死者数(H30年) 39人(対前年:-16人)
- ※年間死者数は、昭和26年以降で最少





### ⑤ 農山漁村の多面的価値の次世代への継承

1,489百万円

農山漁村の持つ多面的な価値が持続可能な形で引き継がれるよう、住民自らが行う地域の将来の検討や地域資源を活かした活動を支援します。

新規

#### 「やまの健康」推進事業（9.1百万円）

- ・森林・林業・山村を一体的に振興するための構想の策定
- ・住民自らが行う計画づくりの支援 など

新規

#### 「やまの健康」山と農のにぎわい創出事業（3百万円）

- ・多様な主体との協働活動の推進
- ・農山村における滞在型旅行に向けたメニュー開発、ガイド育成 など

新規

#### 「やまの健康」獣害対策モデル事業（0.7百万円）

- ・獣害を受けにくい農作物や伝統的作物再生検討、直売や民宿等への提供 など



- 過疎化や高齢化の進展
- 獣害による農業や地域の活力の低下



### ⑥ 互いに支え合う共生社会の実現

361百万円

多様な人々が支え合い、知恵や力を出し合うことにより、社会の活性化や新たな価値が創造されるよう取り組むとともに、すべての人の人権と個性を尊重し合う共生社会づくりを推進します。

新規

#### 障害者差別解消総合推進事業（14.1百万円）

- ・障害者差別解消相談員、地域相談支援員（地域アドボケート）の設置
- ・啓発・出前講座の実施
- ・合理的配慮の先駆的取組に対する助成モデル事業 など



新規

#### 介護等における精神障害者就労促進事業（5.3百万円）

- ・精神障害者の技能習得のための研修の実施
- ・介護事業所等職員研修の実施 など

拡充

#### 農業と福祉の連携による共生社会づくり（20.8百万円）

- ・障害のある人の就労や農業分野の働き手の確保に向けた取組
- ・農業や農作業を活用した新たな施策に向けての意見交換 など



拡充

#### 多文化共生総合相談ワンストップセンターの運営（25.3百万円）

- ・相談窓口体制の強化
- ・多言語対応の充実
- ・相談業務に関する研修等の充実 など

●就業中の障害者数

H27:6,256人 H28:6,498人 H29:6,787人



# 3. 自然の健康 (5) 未来につなげる 豊かな自然の恵み



## ① 環境の保全再生と自然の恵みの活用

1,546百万円

琵琶湖とそれを取りまく環境の保全再生を図るとともに、自然の恵みを持続的に活用するための取組を進めます。また、森林の多面的機能発揮の基礎となる取組を推進します。

新規

### 琵琶湖活用推進支援事業（1百万円）

- ・県内外に向けた価値・魅力の発信
- ・琵琶湖サポーターズ・ネットワーク交流会の開催 など

新規

### 南湖湖底環境改善事業（3.8百万円）

- ・南湖湖底環境改善検討会
- ・南湖の湖底環境改善に向けた影響調査

### ニゴロブナ栽培漁業推進事業（24.4百万円）

- ・栽培漁業の中核的魚種であるニゴロブナ種苗の生産放流
- ・放流効果の調査

新規

### 森林経営管理市町等支援事業（34百万円）

- ・研修による森林・林業人材育成【フォレストアカデミー】
- ・放置人工林等の境界明確化等に取り組む市町への支援



●琵琶湖の活用と保全再生のための主体間連携の促進

●県産材の素材生産量

H27:54,000㎡ H28:76,000㎡ H29:88,000㎡



## ② 気候変動への対応と環境負荷の低減

126百万円

温室効果ガスの排出抑制や再生可能エネルギーの導入など低炭素社会の実現に向けた取組を行うとともに、気候変動により起こりうるリスクへの対応を進めます。また、廃棄物の発生抑制等により、環境負荷を低減します。

新規

### 気候変動適応推進事業（11.8百万円）

- ・滋賀県の将来気候予測、気候変動が本県に及ぼす影響の評価および適応策の検討
- ・有識者等による（仮称）気候変動適応検討会の開催、県民シンポジウムの開催 など

新規

### 気候変動適応型農作物生産体制強化事業（95.4百万円）

- ・水稻の気候変動に適応した生産技術の情報発信と実践体制の強化
- ・園芸作物の気候変動に適応する生産対策技術の実証・研究
- ・農業用ハウスの強靱化対策の推進

新規

### 琵琶湖におけるプラスチックごみ問題調査検討事業（1.8百万円）

- ・プラスチックごみの発生源に関する知見収集
- ・赤野井湾のプラスチックごみの種類等に関する実態調査（先行モデル調査） など



写真提供 京都大学 田中周平准教授

- 多分野において、気候変動の影響が顕在化しつつある
- 現在、魚等への影響は認められていないが、琵琶湖岸や湖底でプラスチックを含むごみが散見、水や底泥からマイクロプラスチックが検出

# 3. 自然の健康 (5) 未来につなげる 豊かな自然の恵み

## ③ 環境学習の推進、国際的な協調と協力

610百万円

持続可能な社会づくりを担う人育てや、日常生活や事業活動における環境に配慮した行動への転換に向けた取組を推進します。また、琵琶湖や環境の課題解決に資する調査研究や技術開発を進めるとともに、その成果を活かして海外の課題解決に貢献します。

### 琵琶湖博物館展示交流空間再構築事業 (225百万円)

- A展示室を「現在の環境が過去からの一連の変化によって成り立っている」という視点で紹介する展示に再構築
- B展示室を「人間活動」を中心とした展示から、「人と自然環境とがどのように関わってきたのか」、その歴史を学ぶことができる展示に再構築



### 湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信 (3.6百万円)

- 国際会議での発信、ネットワークの構築
- 国や有識者、国際機関等との連携
- 姉妹友好州省等との連携 など



- 多様な環境学習の機会の充実
- 国内外との連携を通じて世界の湖沼・水問題に貢献



# 「やまの健康」の推進



## 「やまの健康」を高める取り組み（14,204百万円）



### 「やまの健康」推進プロジェクト

48.2百万円

- 新 「やまの健康」推進事業 (9.1百万円) (森林政策課)
- 新 「やまの健康」仕事おこし事業 (1.2百万円) (商工政策課)
- 新 「やまの健康」獣害対策モデル事業 (0.7百万円) (農業経営課)
- 新 「やまの健康」山と農のにぎわい創出事業 (3.0百万円) (農村振興課)
- 新 「やまの健康」森の恵み活用促進事業 (4.5百万円) (森林政策課)
- 「やま・さと・まち」移住・交流推進事業 (23.3百万円) (市町振興課)
- 「やま・さと・まち」空き家流通促進モデル事業 (6.4百万円) (住宅課)

#### やまを守る取組

森林整備 (2,415百万円)

治山・水源対策・砂防 (7,739百万円)

#### やまの産業を活性化させる取組

山村振興 (1,836百万円)

獣害対策 (413百万円)

産業（農業・工業・商業） (210百万円)

#### やまの魅力を磨き伝える取組

移住・交流 (215百万円)

文化 (760百万円)

観光・広報など (309百万円)

#### やまの暮らしを支える取組

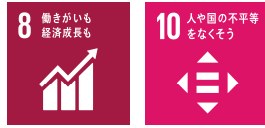
健康づくり (28百万円)

交通 (279百万円)



# 外国人材受入れ・共生に関する事業

外国人材の円滑な受入れと、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備の推進  
(566.7百万円) 平成30年度補正予算8.2百万円含む



## 多文化共生社会の実現

### 相談窓口の拡充

多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮）の整備・運営(33.4百万円 平成30年度補正予算8.2百万円含む)  
情報提供及び相談を行う一元的な窓口である「多文化共生総合相談ワンストップセンター（仮）」を整備・運営

### 多言語対応

#### 医療機関における多言語対応(12.8百万円)

医療機関における多言語対応可能なタブレット端末等の配備を支援

### 日本語指導の充実

#### 外国人児童生徒等への日本語指導(1.2百万円)

来日した外国人児童生徒等への日本語指導や母語支援の充実

## 外国人材の確保

### 企業向け相談窓口の設置・出張相談会

#### 外国人材受入サポートセンターの開設(42.7百万円)

外国人材等の受入れを希望する県内企業向けの相談窓口として「滋賀県外国人材受入サポートセンター」を開設

### 労働者への支援

#### 外国人介護職員に対する研修等の支援(5.0百万円)

受入れ施設が行う外国人介護職員を対象とした集合研修を支援



他 教員の加配、災害時の支援、交通安全対策、就職支援 等  
471.6百万円

# SDGs 未来都市に向けた取組



## 持続可能な社会に向けた担い手づくり

### 持続可能な発展を支える産業と雇用の創出

経済

- 社会的課題の解決につながるイノベーションの創出
- ビワイチ観光の推進
- オーガニック農業など環境こだわり農業の拡大 など

### 多様な人々で支える活力ある社会づくり

社会

- 「やまの健康」の推進
- 農業と福祉の連携による共生社会づくり
- 農山村における滞在型旅行の推進 など

## 自治体SDGsモデル事業(26.2百万円)

### ●未来の担い手づくり

- 大学生のSDGs達成に向けた活動等を支援
- 未来の地域福祉のあり方について高校生がつくる動画発信への支援
- エンターテインメントの力を活用したSDGsの普及等

### ●琵琶湖等を活かした社会の担い手づくり

- 豊かな自然や生活文化の魅力を伝えるエコツーリズム 外国語ガイドの育成等
- 地域住民とつくるダム周遊ガイドマップの作成や周遊ルートの整備等

### 琵琶湖をはじめとする豊かな自然の恵みを未来につなげる

- 琵琶湖を「守る」と「活かす」の好循環の創出
- 気候変動への対応
- 湖沼問題の解決に向けた国際協力 など

環境





# みんなで目指す2030年の姿

